

# こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森  
Tel: 04-7132-8800  
Fax: 04-7132-8806  
Email: info@konbukuroike.com  
URL: <http://www.konbukuroike.com>

2024年1月

第117号

## 『樹名板づくり』を終えて

徳永 さと子

11月26日(日)、柏の葉 T-SITE を会場に『こんぶくろ池自然博物公園の樹名板づくり』が開催されました。今年の夏、“全国の木と人の出会いをつくる”活動を長年続けてこられた NPO 法人リトカルの樹名板作成体験のイベントが、松戸市の 21 世紀の森と広場にて開催されたことをきっかけに、このイベントに参加した会員有志の間で、こんぶくろ池自然博物公園でもやってみたいという意見があがりました。当園としては初めての試みでしたが、会員の皆さんのご協力のもと、無事に開催に漕ぎつけました。また、様々な相談に対応して下さったりリトカル様、ありがとうございました。

### 樹名板の準備

樹名板になる板材は、園内の伐木や枝払いで発生したものを使用しました。木工の得意な会員の皆さんが、複数の道具を駆使して材を 20mm 程度の薄さに切り出します。一見簡単そうに見える作業ですが、なかなかどうして、均等に平らな板を切り出すのに試行錯誤が続きました。切り出した材は、サンダーを使って表面を滑らかにしていきます。自然のもので形状はもちろん、桜や杉などそれぞれの持つ風合いが生かされた、こんぶくろ池自然博物公園ならではの樹名板が準備できました。



樹名板は全部で 30 枚準備できましたので、対象樹木も 30 本選ぶことにしました。園路から見つけやすく、ほど良い樹形の木を 30 本も選ぶのは思いの外時間のかかる作業でしたが、普段意識していなかった樹種もあり、それらを含めて園内の樹木を再確認することができ、

個人的にもたいへん勉強になりました。今回は、作業時間や手間を考え、5文字以下の名前の木を選びました。（今回選んだ樹種：イヌザクラ、イヌシデ、ウメモドキ、エゴノキ、エノキ、クヌギ、クリ、コナラ、コブシ、ゴンズイ、サワラ、スギ、ハンノキ、ヒサカキ、ホオノキ、ミズキ、ムクノキ、ヤマグワ、ヤマザクラ）



当日の午後、2回に分けて開催した樹名板づくりには、合わせて9家族24名が参加してくださいました。小雨が断続的に降り、日中でも10°Cに達しなかったこの日、暖かい室内会場を用意できたことは幸いでした。受付後、事前に用意した樹木カードをトランプのように引いてもらい、自分の担当する木を選びました。続いて公園の簡単な説明や、木と園内で暮らす生き物たちについて、少しお話しをしました。公園に来たことがない方も、園内をイメージしていただけただけでしょうか。



いよいよ作業開始です。

参加者の皆さんには、用意した30枚の樹名板から、各々気に入った板を選んでいただきました。次に予め紙に印刷された樹名を、カーボン紙を使って板に写し書きします。写し終えた樹名や、その周囲などにポスカやアクリル絵の具で色をつけたり、思い思いの模様や絵を描いてもらいました。お好みでドングリや木製ビーズなどを飾り付けて完成です。

お子さんの発想は本当に自由でのびやか！どの樹名板も暖かく、楽しさの伝わる作品となりました。お子さんたちからは、「楽しかった」、「公園に見に行くのが楽しみ」といった声が聞かれました。



### 仕上げのニス塗装

12月2日(土)の活動日に、会員が出来上がった樹名板のニス塗りをしました。ニスによって光沢を得た樹名板がずらりと吊るされると、通りすがりの方も思わず足を止めて、出来栄の素晴らしさに感心しておられました。

使用したのは屋外用の油性ウレタンニスです。しっかり2度塗りしましたので、数年間は樹名板を守ってくれることでしょう。



## 完成した樹名板の取り付け作業

12月17日(日)、樹名板の取り付け作業の参加を希望された6家族16名が公園に集まってくださいました。用意したマップを見ながら自分の木を見つけ、ニスが乾いて仕上がった樹名板を、シュロ縄で括りつけます。取り付けが終わると自然と拍手が沸き起こりました。作者のお子さん達は木と並んで記念撮影。照れくさそうにはにかむ子、満面の笑みでポーズをとる子、どのお子さんもみんなとても嬉しそうで良い表情をされていたのが印象的でした。



イベント開催時には十分に時間が取れず、それぞれの樹木についてお話しできませんでしたが、この日は、園内を歩きながら大きなハウノキの葉を拾って、ハウバ味噌の話をしたり、レーズンのようにしわくちゃになったムクノキの実を見つけて「美味しいかな？」と想像したり、そびえ立つイヌシデの立派な幹に触れてみると、作業だけではない、たいへん有意義な時間を過ごすことができました。

芽吹きの中、花の季節、新緑の頃、虫たちが元気に飛び回る夏、紅葉の秋、それぞれの季節で様々な表情を見せてくれる樹木たち。今回選んだ樹種は大半が落葉広葉樹であった為、黄色く色づいた葉も殆ど落ちたタイミングでしたが、参加してくださった皆さんには勿論、ご来園くださる皆さんに、是非そんな樹木の姿の移り変わりを新しい樹名板とともに楽しんでいただけたらと思います。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

## 道の駅しょうなん

橋本谷 弘司

「道の駅」の構想は1990年1月に広島市で行われたシンポジウム「中国地域づくり交流会」において「鉄道に駅があるように道路に駅があってもいいのではないか」という提案から始まり、同年6月のシンポジウムでは山口県から広島県に向かう道中で鉄道駅のトイレに寄らざるを得なかった体験談から、道路にもトイレを備えた駅があってもよいのではないかとの問題提起があり、会場からは「野菜や干物も販売してはどうか」など賛同する意見が相次ぎ、国の政策として検討・準備が進み1991年10月から12ヶ所で「道の駅」の社会実験が行われたのが始まりです。現在、道の駅は約1200駅になっており、鉄道駅舎併設の道の駅や鉄道駅前に設置された道の駅などもあります。

柏市では手賀沼に架かる橋・手賀大橋の手前左側に「道の駅しょうなん」が2001年4月にオープンしました。

設置当時の沼南町が名称の由来です。2021年12月には新設棟「てんと」がオープンし、売り場面積も3倍以上になり、既設棟「つばさ」も2022年4月にリニューアルオープンしました。新設棟は2022年度のグッドデザイン賞に選ばれています。

道の駅以外にも、海の駅、まちの駅、川の駅、湖の駅、滝の駅、漁港の駅、山の駅、山里の駅、高原の駅、森の駅、里の駅、農の駅、空の駅、健康の駅などのネーミングの駅が次々に誕生しています。

そのうち「道の駅」は47都道府県すべてにあり、「まちの駅」は42都道府県、「海の駅」は海なし県を除いてほとんどの都道府県にあります。

柏市で初となる「まちの駅」が2022年4月に4つ誕生しました。

- ① 柏駅前の「Kamon かしわインフォメーションセンター」
- ② 柏の葉にある観葉植物とスミージーの「Grün (グリユーン)」
- ③ 大津ヶ丘にある「中村順二美術館」
- ④ 南増尾にある「ファーム小川」

です。なお、ファーム小川は当NPO会員の小川幸夫さんのお店です。

「駅」には人が集まり、人と人、人と物の出会いがあり、人それぞれの思い出が詰まった場所でもあります。「駅」は親しみを込めて使われる言葉のひとつです。



道の駅しょうなん「てんと」



道の駅しょうなん「つばさ」

## 鳥の調査記録 (2022年版)

毎月第3火曜日に行なっている（7月～9月は休み）鳥の調査結果について報告します。

### こんぶくろ池 鳥の調査記録

NPO法人こんぶくろ池自然の森  
2022年1月～2022年12月  
毎月第3火曜日 9:00～12:00

No.	科	種名	2022年																			
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12							
			日	29	22	15	19	17	21	夏休み	夏休み	夏休み	18	27	21							
天気	晴	晴	晴	晴	晴	曇り				曇り	晴	晴										
参加人数		1	5	4	4	6	3				6	1	5									
1	ハタオリドリ	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●		●	●			
2	モズ	モズ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●							●			
3	カラス	カケス	○	○	○	○	○	○	○	○												
4		ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●		●	●			
5		ハシボソガラス	○		○		○															
6	シジュウカラ	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●		●	●			
7		ヤマガラ	○		○	○	○				●											
8	ヒバリ	ヒバリ	○	○			○	○	○	○			●	●	●	●						
9	ツバメ	ツバメ		○	○	○	○	○	○	○			●	●	●	●						
10	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●		●	●			
11	ウグイス	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○			●	●	●	●		●				
12	エナガ	エナガ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●										
13	ムクドリ	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○					●							
14	ツグミ	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●					●			
15		シロハラ	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○				●		
16		インビヨドリ		○																		
17		ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○	●	●							●			
18	ヒタキ	キビタキ			○	○																
19		コサメビタキ				○																
20		エソビタキ			○																	
21		ルリビタキ							○		●								●			
22	セキレイ	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●									
23		セグロセキレイ		○																		
24		タヒバリ							○													
25		ビンズイ							○	○												
26	アトリ	アトリ			○		○															
27		カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○			●	●	●		●					
28		シメ	○	○		○	○	○	○	○	○	●	●									
29		イカル			○																	
30		ベニマシコ						○	○										●			
31	ホオジロ	ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○			●	●	●	●						
32		カシラダカ	○	○			○	○														
33		アオジ	○		○	○	○	○	○	○	○	●	●						●			
34		クロジ						○														
35	キツツキ	コゲラ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●				●			●			
36		アカゲラ		○		○	○		○													
37	キジ	コジュケイ	○	○	○	○	○	○	○	○			●	●								
38		キジ	○	○	○	○	○	○	○	○			●	●	●							
39	ハト	ドバト		○					○	○	●	●	●	●	●		●					
40		キジバト	○		○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●		●	●			
41	カモ	カルガモ	○	○		○	○	○	○	○			●									
42		ハシビロガモ						○	○	○												
43		マガモ							○	○									●			
44	サギ	アオサギ	○	○		○	○	○	○	○			●									
45		コサギ							○													
46	メジロ	メジロ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●			
47	ウ	カワウ		○		○																
48	タカ	オオタカ	○		○				○	○	●											
49		ノスリ						○	○													
50	カワセミ	カワセミ						○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	●			
51	クイナ	クイナ									●											
	合計(種)		27	29	25	30	33	33	28	32	20	14	15	15	13	12	—	—	—	5	10	13

## 12月理事会

(日時) 2023年12月16日(土) 12:30~15:30  
 (場所) 管理棟  
 (出席者) 議長(理事長): 萩原  
 出席者(理事) 中川・上田・徳永(書記)  
 (会計) 山上・(顧問) 岡本・(監事) 松田

### 1. 審議検討・確認事項

- (1) 来年度(2024年度)に向けての課題の検討
  - ・ 来年度のイベント計画の検討をした。  
 夜の昆虫観察会(7月末~8月始め頃)及び、きのこ観察会(10/20(日))の開催は決定。  
 その他観察会、ワークショップなど、通常の活動や会員にストレスのかからない範囲で開催可能なものを継続検討する。
  - ・ 来年度の体制づくり(執行部・各担当他)について、検討した。
  - ・ 来年度も引き続き主要課題である水問題の現状と課題の共有及び、その他保全活動について作業内容の確認をした。
- (2) 今年度の予算執行状況の確認及び12月以降の予算執行予定について
  - ・ 11月末活動計算書残高及び貸借対照表残高の確認をした。
  - ・ 3月までに購入予定の物品の審議をした。
- (3) (12/17)流山市団体(水と緑の探偵団)の活動体験準備状況の最終確認をした。
  - ・ 当イベント企画者及び活動体験者3名の計4名が来園予定。
  - ・ 上記を踏まえて詳細を詰めた。(当園・当NPOの説明担当、体験作業内容、園内案内担当他)
- (4) ナラ枯れ被害木対応状況について
  - ・ 12/12 13:30~15:30 公園緑地課(3名)によるナラ枯れ被害木確認立会い。
  - ・ 今年度に発生した被害木は計79本であった。
  - ・ 伐採及びオオタカ営巣予定エリアのネット巻きを優先するように申し入れ実施。
  - ・ 実施業者及び作業実施予定時期について、決定次第連絡が来る予定。
- (5) (11/26)「こんぶくろ池自然博物公園樹名板づくり」の実施結果報告について
  - ・ 参加者は12名。樹名板は16枚作成した。12/17(日)に取り付け作業予定。
  - ・ T-SITEでの実施は、会場が室内である為、天候に左右されず開催できたことは良かった。一方で、集客面ではあまりメリットが感じられなかった。
- (6) (2/25、3/2、3/17)「里山の保全活動体験会」の準備状況について
  - ・ まずは12/6に「広報かしわ」2月号掲載原稿を公園緑地課に提出し、広報広聴課への連携を依頼済。
  - ・ 実施内容の共有をした。なお、チラシは500部発注する。

(7) 1～2月活動計画

- ・ 弁天池と水路の落葉掻きなど、前倒しできる作業は12/17(日)に移行、また今年の動植物の動向から、早めた方がよさそうな野鳥の巣箱関連の作業や、オオタカの保護策設置作業の時期について検討した。

(8) 1月の通信記事

- ・ 掲載記事について協議した。

2. 報告事項

- (1) 柏の葉スマートシティのインタビュー対応 (12/1)
- (2) 【第33回イオン環境活動助成】の助成金決定 (12/13)  
予定している購入品について、確認した。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

---

## 新入会員紹介 名川 裕子さん



**参加動機：**花が好き、植物が好き、人工美でない自然な姿の公園が好きです。

**貢献できそうなこと：**調査

**取り組んでみたいこと・分野：**植物についての知識を深めたいと思います。なかなか覚えられませんが・・・

**ひとこと：**ほったらかしの自然ではなく、里山としての自然の姿を残せるお手伝いできればと思います。